

活動実施計画書

団体名： 平針北学区連絡協議会

1 組織の現況、課題

平針北学区では、住民は子供世帯が流出した高齢者世帯と他地区からの流入してきた転勤世帯・単身世帯が共存しており、町内会加入率の低下が課題となっています。現在の加入率は 35.5%であり、区平均の 53.2%と比べても低水準です。特に、単身世帯比率が 56.3%と高く、地域住民同士の交流が希薄になりがちです。また、町内会の情報が十分に伝わらず、特に若年層に町内会のメリットや活動内容が認知されていません。この状況を改善し、住民の地域コミュニティへの参加を促すための施策が必要です。

【町内会加入者が少ないことによる課題、懸念点】

- ・町内会加入率が低いことで、災害時の共助体制が弱くなる懸念がある。
- ・地域イベントの参加者が減少し、住民同士の交流機会が失われている。
- ・防犯・安全活動が十分に認知されず、地域の防犯力が低下する可能性がある。
- ・地域福祉ネットワークの脆弱による、生活弱者の情報が把握できない。

[令和 7 年 3 月 1 日現在]

- ☆ 人 口 7,928 人 / 昨年度 8,019 人
- ☆ 世帯数 4,673 世帯 / 昨年度 4,665 世帯
- ☆ 一世帯当たりの人員 1.70 人(区内最少) / 区 2.02 人
- ☆ 単独世帯比率 **56.3%** / 区 44.0%、市 45.1%
- ☆ 65 歳以上比率 21.6% / 区 23.2%、市 25.4%
- ☆ 町内会加入世帯 1,661 世帯 加入率 **35.5%** / 区 53.2%

2 助成を受けようとする活動の目的

本活動の目的は、町内会の役割やメリットを住民に広く発信し、活動内容なども分かりやすく伝えていくことで加入率の向上を図ることです。そのために、現行のホームページをリニューアルし、より魅力的かつ効果的な情報発信を行うことを目指します。

ホームページを単なる情報掲載の場ではなく、「地域と住民をつなぐプラットフォーム」として再構築し、以下の要素を強化します：

- ・町内会の活動情報を定期的に発信
- ・SNSとの連携強化（X・Instagram など）
- ・コンテンツの充実（アンケート・写真投稿など）
- ・住民がアクセスしやすいデザイン改善

これにより、町内会の認知度向上だけでなく、地域住民の積極的な参加を促す効果を期待します。併せて、町内会に関与するメリットを明確に示していきたい。

- 「町内会の活動に参加することで近隣住民とのつながりができ、安心して生活できる」
- 「地域のイベント参加によるネットワークづくりや、防災・防犯の支援が受けられる」
- 「情報共有を通じて、地域生活がより円滑になる」

3 活動による今年度の成果目標

【ホームページ再構築の完遂と地域住民へのローンチ】

まず、ホームページを再構築し、学区の活動について広く情報発信し、若い世代の人たちも積極的に学区行事に参加しようとする機運を高める必要があると考える。

そのため、地域企業の協力を仰ぎ、地域住民のニーズを取り入れながらコンテンツ作成を実施する。

ホームページをリニューアルし、学区活動内容やメリットを分かりやすく伝えるプラットフォームを再構築することで、地域住民への情報発信力を向上させ加入率を高める。

【次年度以降の成果目標】

- 1.ホームページの訪問者数を現状の2倍に増加
- 2.町内会加入率を10%向上
- 3.イベント参加者数の増加

4 助成を受けようとする今年度の活動内容

ホームページリニューアルに関する具体的な活動内容は以下の通りです。

- 1.地域住民の意見収集
 - ・住民アンケート実施（町内会の認知度・希望するコンテンツ）
 - ・学区イベントにて試験的にプロトタイプ公開し、フィードバックを収集
- 2.ホームページ再構築
 - ・地元にある企画会社と連携し、開発を委託
 - ・スマートフォン対応、UI/UX改善
 - ・動画・写真コンテンツの充実
- 3.広報活動
 - ・SNSアカウント運用（定期的な更新・イベント告知）
 - ・地域掲示板・チラシ・町内会回覧での周知活動
- 4.運用体制の構築
 - ・連絡協議会メンバー向けのホームページ更新研修
 - ・継続的なコンテンツ管理体制を整備

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

学区区政協力委員を始め、学区の各種団体関係者らと学区の課題に対し共通認識を図りながら、その一方で、学区在住の若い人たちの力を借りて、学区行事をより魅力あるものとするよう、常に情報発信ができるような体制を整えていきたい。

なお、ホームページ開発は、地元にある企画会社に委託することで、継続的な運営支援を仰ぐことができる。

【関係者】

- 地元企画会社（ホームページ開発・運用サポート）
- 連絡協議会役員・学区関係者（コンテンツ提供・意見収集）
- 住民ボランティア（SNS運用サポート・イベント協力）
- 平針北小学校 PTA（若年層への情報伝達・意見収集）

また、全国各地で町内会加入率向上の取り組みが行われているため、成功事例を参考にしながら計画を推進していきたい。

- デジタル活用で町内会の参加促進を成功させた自治体の事例
- 町内会活動をイベント化し、若年層の参加を促した事例
- 企業との連携により地域活動を活性化した事例

6 今年度の活動内容のスケジュール

月	活動内容	詳細
4	・平北小児童初登校 見守り・声掛け活動 ・県下一斉大監視、サイン板キャンペーン ・学区連絡協議会第35期通常総会	

※ この様式は公開されます。

5		
6	◆プロジェクト計画策定 ・町内別地域一斉清掃 ・グラウンドゴルフ大会	◆アンケート実施、デザインおよび内容の要件定義
7	◆プロジェクト計画策定 ◆ホームページ設計 ・県下一斉大監視、サイン板キャンペーン ・ラジオ体操・納涼夏祭り 2025	◆アンケート実施、デザインおよび内容の要件定義 ◆デザイン案作成およびレビュー
8	◆ホームページ設計 ・日本ど真ん中祭りバリバリ平針	◆デザイン案作成およびレビュー
9	◆コンテンツ制作 ・県下一斉大監視、サイン板キャンペーン ・学区防災訓練	◆写真・テキスト作成、SNS 連携 ◆地域住民との意見交換会
10	◆コンテンツ制作 ◆開発およびテスト ・秋まつり・運動会・協議会中間報告会	◆写真・テキスト作成、SNS 連携 ◆地域住民との意見交換会 ◆機能構築および動作確認
11	◆開発およびテスト ・あいあい挨拶活動・秋のクリーン活動	◆機能構築および動作確認
12	◆開発およびテスト ・県下一斉大監視、サイン板キャンペーン ・ペットボトル Xmas ツリー点灯式	◆機能構築および動作確認
1	◆広報活動開始 ・二十歳の成人式	◆SNS や回覧、掲示板でホームページを告知
2	◆広報活動	◆SNS や回覧、掲示板でホームページを告知
3	◆広報活動 ・春のクリーン活動 ・お花見スタンプラリーウオーキング ・和やか趣味の作品展	◆SNS や回覧、掲示板でホームページを告知

7 活動後、次年度以降の展望

学区課題に対して何ができるのかを、連絡協議会関係者だけでなく、特に若い世代の声を聞きながら、『安心・安全で暮らしやすく住みやすいまちづくり』の一助となるよう情報発信を継続していきたい。そうすることにより、地域住民の学区への愛着・相互扶助の気持ちが高まっていくことを期待する。なお、情報発信を継続運用していくために、今後はホームページに対し以下の改善内容を推進する。

- ・構成員のデジタルスキルアップ研修の開催
- ・メンバーによるコンテンツ更新の習慣化
- ・ホームページの運営資金の予算化

この計画を実施することで、「地域と住民をつなぐ情報発信基盤」を構築し、学区・町内会の活性化につなげていきます。

☆地域まちづくりとの関連性

ホームページを活用して住民意識を高め、地域活動の活性化に寄与する。

☆組織強化との関係

情報共有の改善により町内会の運営効率が向上し、若年層の参加促進につながる。

最後に、今回のホームページ再構築とそれを活用した情報発信体制の刷新は、協議会運営そのものを次世代へバージョンアップしていくリーディングプロジェクトとしての期待が込められており、今後の協議会活動の更なる活性化に繋げていきたい。併せて、活発な地域コミュニティを醸成することで、災害に強いまちづくりを目指したい。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3 ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。